

令和6年度山形県薬事審議会 議事録

I 開催日時 令和7年2月19日(水) 午後3時～午後4時30分

II 開催場所 あこや会館 202会議室

III 主席者

○委員(敬称略)

間中英夫、岡寄千賀子、北村則夫、大石俊樹、松浦光輝、板垣有紀、山田武志
後藤道子、阿部則裕、加藤多恵子

○事務局

本間薬務・感染症対策主幹、高橋課長補佐、佐藤専門員 他2名

IV 審議会概要

1 開会(午後3時)

2 挨拶

3 会長・副会長選出

委員の互選により、会長に間中委員、副会長に岡寄委員が就任

4 議事(議長:間中会長)

(1) 報告事項

令和6年度薬事関係主要事業の概要について

事務局	(資料1に基づき説明)
委員	p.10 薬剤師確保対策について 今年度、県病院薬剤師会では、中・高校生から病院薬剤師の仕事を知り、薬剤師を目指してもらうため、学校訪問を実施している。 その中で、高校の先生から、薬剤師を目指したいが金銭面の理由から諦めている学生がいるとの話があった。 また、訪問した際に、この事業の紹介もしているが認知度が低いと感じている。 中・高校生への事業周知を図ることによって、薬剤師を目指そうとする中・高校生が増えるのではないかと。
事務局	金銭面の心配をしないで薬剤師を目指し頑張ろうという学生も増えると思うので、周知していきたい。
委員	p.6 災害医療体制について 当県においても、災害薬事コーディネーターの養成について動き始めてきたところと感じている。 今年度の大雨災害を経験すると、いつ何時、発災するか分からない状況であるため、災害に関する事業について手厚くしていただきたい。 p.3 ジェネリック医薬品安心使用促進事業について 県内の後発医薬品使用状況が全国3位であることや、今般、医薬品の供給が不安定であることを考慮すると、医療機関が「山形県ジェネリック医薬品採用薬リスト」を参考に後発医薬品を選択するという段階ではないと考える。 今後、「山形県ジェネリック医薬品採用薬リスト」については作成しな

	いという選択肢もあるのではないか。
事務局	今年度、医療機関向けのアンケートを実施している最中であり、「山形県ジェネリック医薬品採用薬リスト」の利用状況についても確認している。 回答を把握のうえ、今後の方向性を決めていければと考えている。

(2) 諮問事項

ア 山形県大麻取扱者免許審査基準の改正について

事務局	(資料2に基づき、諮問に至った経緯及び委員からの事前意見を踏まえた審査基準の改正(案)の概要について説明)
委員	従前の基準に基づき、県内で大麻取扱者免許を取得している事業者は存在するのか。
事務局	ありません。 過去に1、2件の相談はあったが、具体的な事業計画に基づく相談事例はない。
委員	相談はないとのことだが、法改正時に県の審査基準を改正することは妥当であると考えている。

【協議結果】 審査基準(案)については、全員一致で適当と承認された。

イ 令和7年度薬事監視重点監視項目について

事務局	(資料3に基づき重点監視項目(案)について説明)
委員	p.1 乱用等のおそれのある医薬品の取り扱いについて 登録販売者はその資格職能により、店頭において、ひと箱ずつ医薬品を販売する立場にあるが、登録販売者の合格率は高く、誰もが合格できる時代となっている。 登録販売者の資質確認のため、省令に規定されている外部研修の受講状況確認を重点監視項目に追加してはどうか。 登録販売者の資質向上により、県民の健康を守り福祉の向上に寄与するという大役にも貢献できると考える。
事務局	重点項目への追加を検討させていただきます。

【協議結果】 事務局(案)に登録販売者の外部研修の確認を追加することで、全員一致にて承認された。

5 その他 特になし

6 閉会(午後4時30分)